

日本金属、散気装置の製造受託業務を開始

～福島工場のロールフォーミング技術を活かし、素材供給から組立・出荷までの一貫体制を構築～

日本金属株式会社（本社：東京都港区、取締役社長：下川康志、証券コード：5491、以下「当社」）は、三機工業株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：名古屋和宏、証券コード：1961、以下「三機工業」）との散気装置に関する業務委託契約に基づき、本格的な製造業務を開始したことをお知らせいたします。



図 1. 超微細気泡散気装置
(三機工業ホームページより)

当社は 2025 年 8 月 1 日付で、三機工業と散気装置に関する業務委託契約を締結いたしました。その後、両社協力のもと量産体制の構築を進め、2026 年 7 月度より当社福島工場（福島県白河市）にて本格的な製造を開始いたしました。

本製品の主要部材となるステンレスフレームには、福島工場のロールフォーミング技術が採用されており、当社は部材供給から製品の組立、検査業務及び梱包出荷まで工場内での一貫した製造体制を手掛けております。

■ 超微細気泡散気装置概要

超微細気泡散気装置は酸素移動効率を大幅に向上させた省エネルギータイプの散気装置であり、優れた性能と信頼性を兼ね備えた製品として多くの下水処理場で採用されています。加えて、三機工業の戦略商品に位置付けられており、今後の市場展開においても重要な役割を担うことが期待されています。

詳しくは[三機工業ホームページ](#)をご参照ください。

■ 福島工場の概要

圧延・フォーミング・プレス加工を中心とした塑性加工技術で、冷間異形圧延製品（ファイン・プロファイル®）や型钢・ロールフォーミングなどを製造し、精密分野から建築分野まで幅広くお客様のニーズに対応しています。

当社ホームページ: <https://www.nipponkinzoku.co.jp/corporate/office/fukushima-plant>

■ 第 11 次経営計画「NIPPON KINZOKU 2030」について

当社はビジョンとして『人と地球にやさしい新たな価値を共創する Multi & Hybrid Material 企業』を掲げています。「Multi & Hybrid Material（多種多様な素材の活用）」、「Near Net Shape（最終製品に近い形状への成形加工）」および「Near Net Performance（最終製品に要求される性能を素材・部材で実現する）」をキーワードに、独自技術を活用した製品開発を推進しています。本受託業務は、当社の技術が環境インフラの発展に貢献するものであり、事業構造の変革を目指す取り組みの一環であります。

*** 本リリースに関するお問い合わせ先 ***

日本金属株式会社 法務広報部

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/contact-other>

*** 本製品及び技術情報に関するお問い合わせ先 ***

日本金属株式会社 プロダクションプロセス・サポート部

<https://www.nipponkinzoku.co.jp/contact>